

自己評価結果報告書

令和8年2月27日

大分県障害福祉課長 様

所在地 大分県日田市淡窓1-53-5
法人名 大分県社会福祉事業団 地域生活支援センターはぎの
代表者 職・氏名 センター長 穴井靖彦

1. 事業所の状況

事業所の名称	こどもデイサービスぴーす	
事業の種別	児童発達支援	
事業所番号	4450400058	
指定年月日	平成24年7月23日	
連絡先	担当者名	穴井靖彦
	TEL	0973-24-2451
	E-mail	tiikihagino@air.ocn.ne.jp

2. 取組時期

①保護者による評価	令和 8年 1月 13日 ~ 令和 8年 1月 30日
②職員による評価	令和 8年 1月 13日 ~ 令和 8年 1月 16日
③事業所全体による評価	令和 8年 1月 16日 ~ 令和 8年 1月 16日

3. 公表結果

公表日	令和8年2月27日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ
	URL : https://oitaswo.jp/
	<input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示の上、保護者へ配布

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスびーす		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 13日		～ R8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R8年 1月 13日		～ R8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	STによる発達評価を実施し、それに基づき個別課題を設定しています。	発達評価に基づいた個別課題を設定することによって、全体的発達を促すことができます。	職員全員の更なるスキルアップを目指します。
2	保護者懇談会を実施し、職員との信頼関係構築や保護者同士の繋がりを作ります。	普段より保護者と情報共有をしつつ、ニーズの把握に努めています。	保護者との面談の機会を取り、更に個別のニーズの把握と職員との信頼関係の構築を図ります。
3	職員間が密に連携を取っています。また他機関との密な連携を取っています。	支援の方法やその他学校・保護者・各関係機関等からの情報をすぐに共有しています。	チームワークを大切に統一した支援を行います。職員向けの研修会を積極的にを行い、自己研鑽に努めます。また保護者向け研修会の実施を行い、子育てのサポートを行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こども園との交流の機会を設定していません。	こども園と併用しているご利用児がほとんどであり、地域の園児との交流の機会がある為、機会の設定していません。	児童館や地域の公園の利用を行うことで、地域の子どもと一緒に過ごす機会を作っています。今後も引き続き取り組んでいきます。
2	ペアレントトレーニングやペアレントプログラムを取り入れていません。	技法を習得している専門職がいません。	技法を学び、懇談会等で要素を取り入れていきたいと思えます。児童発達支援センターでペアレントトレーニングやペアレントプログラムを開催してもらえよう提案し、開催情報を保護者に提供できるようにします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもデイサービスびーす
------	--------------

公表日 令和8年2月28日

利用児童数

5

回収数

4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					ブレイルール、カムダウンルーム、スムーズレン、中庭を活動に合わせて使用しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3			1		指定基準を満たした職員配置となっています。今後も研修等に積極的に参加し、職員の専門性向上に努めます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3				1		施設はバリアフリーになっています。個々に応じてスケジュールを提示し、環境や時間の構造化を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3				1	本人が毎回通所を楽しみにしている。	子どもに合わせた空間づくりを心がけています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4						個別支援の拡充を図っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1			今後も支援プログラムと支援内容が一致するよう努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4						サービス等利用計画も参考に、ご利用児・保護者それぞれの要望を取り入れた個別支援計画を今後も作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					昨年度に比べ、行った活動等きめ細やかに連絡帳に記入していただけているのでわかりやすい。	季節やご利用児の様子に合わせて活動内容の見直しをしています。また、個々の目標に対する個別課題を実施しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3				1		児童館や公園を利用し、地域の子どもと交流する機会を設けています。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4						契約時に丁寧な説明をするように心掛けています。また、年度毎に記載内容に変更があれば文書等で伝達しています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	1					支援内容の説明を面談等で十分に行っていきたいと思います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3				1	いつも参加できず、申し訳ない。	今後家族支援プログラムを懇談会等で取り入れていきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4					子供の成長を一緒に喜んでくれる、見守ってくれているという姿勢がとてもありがたい。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1					連絡帳で悩み等の相談があった際は返事を記入しています。今後は個別面談も行っていきたいと思っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					子供の成長を一緒に喜んでくれる、見守ってくれているという姿勢がとてもありがたい。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2				2	いつも参加できず、申し訳ない。	今後も保護者との懇談会や親子行事（ふれあいデー）を開催し、ご利用児・ご家族・きょうだいの交流が深まる機会の提供に努めています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4						生活相談日について毎月のお便りと玄関の掲示でお知らせをしています。苦情相談の体制も整えています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1		自己評価表の結果をホームページとびーず玄関に掲示を行い、公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1		法人の各種マニュアルに沿って毎年訓練を実施しています。今後もご家族へ周知・説明をしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1		2		定期的に避難訓練を実施しており、今後も年1回は参加できるように担当者と調整を進めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	1				安全計画を作成し、支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1		1	そういった状況になったことがないのでわからない。	事故が発生した際は職員間の連絡、保護者への連絡を早急に対応を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					今後も当事業所の支援にご満足していたできるように尽力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスびーす				公表日	令和8年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		個室が2つ、メインフロア(プレイルーム)があり、活動に十分なスペースがあります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		他部署の職員に送迎の協力を依頼しています。(来所中の支援充実のため)		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		個別でスケジュールを用意し、1日の活動がわかるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日清掃を行い、常に清潔が保てるように心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		月に1回事業会議を行うことで、改善点等を周知し、チームで取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者評価を共有し、改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		月に1回事業会議を行うことで、改善点等を周知し、業務改善に取り組んでいます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		第三者による外部評価は受けていませんが、事業所内の他事業、他職種からの助言、法人内監査、県からの監査での指摘等を業務改善に繋げています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		職場研修及び法人内研修、外部研修に積極的に参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		保護者、ご利用児に向けてプログラムの周知を図っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		十分な聞き取りを行い、意思決定を尊重した計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		情報共有と支援の統一を図っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員同士のチームワークが良く、児童一人ひとりの獲得すべき目標に合わせて、声かけや対応をしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		専門職(OT、ST)が中心に評価を行い、全職員に伝達しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		意思決定を尊重した支援計画に基づき必要な機関との連携(担当者会議等)を密に行い、支援をしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		担当が主となり、チームで話し合っています。活動内容が固定化しないよう、職員全員の意見を反映させながら立案していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節に応じたプログラムなどの工夫をしています。		

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どもの状況、その日のご利用児同士の関係性を考慮し、個別活動・集団活動の実施をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		常に職員内で情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日の活動をスケジュール表や声かけで共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日の記録を必ず行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		3か月ごとの中間評価、6か月ごとの個別支援計画の作成を行い、見直しを行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者とSTが主に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		担当者会議を行う際に関係機関と連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		併行利用をしている児に対しては送迎時に保育士と情報交換を行っています。移行に向けた支援は相談員と共に情報共有を行いながら、進めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		情報提供書の作成を行い、情報共有を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4		連携は図っているが、スーパーバイズや助言を受ける機会はありませんでした。今後機会を設けていきたいと思っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	公園や児童館にて地域の子どもと交流する機会があります。	地域の子どもと交流する機会に合わせて、一緒に活動する機会も作りたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳に毎回記入し、伝えています。必要な際は個別に発達評価を伝える機会を作っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	家族間のつながりの機会として、懇談会を年2回実施しています。	今後はペアプロ等の要素を取り入れていきたいと思っています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		個別支援計画作成時に意向表に記入して頂き、ニーズの把握に努めています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		年2回保護者懇談会を開催しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		ホームページに活動の様子を発信するとともに、活動プログラム・行事予定を定期的に発信をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		コンプライアンスについて職員全員が研修を受けています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		コミュニケーション力の向上や保護者・ご利用児に寄り添う支援の実践を心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		年2回センターまつりを実施しました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアルを作成し、BCP訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		毎年、避難訓練・BCP訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		全職員が情報を共有しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、確認・周知を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットの提出を推奨し、取り組んでいます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		職場内研修、法人内研修、外部研修に積極的に参加をしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束適正委員会を実施し、支援計画に盛り込んでいます。		